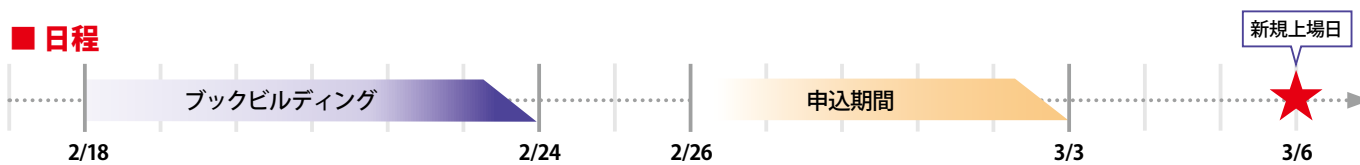


## IPO銘柄 サイバーリンクス (3683・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3683	100株	公募：25.0万株 売出：0株 (OA3.75万株)	2,200円～2,400円 (14.4倍)	みずほ証券

### ■ 日程



## 流通業、官公庁向けITクラウド事業などを展開

### ■ 事業内容

流通業向け、官公庁向けのITクラウド事業とドコモショップ運営のモバイルネットワーク事業を手掛ける。ITクラウド事業では流通業クラウドサービスが拡大中。食品スーパー向けに「@rms」のブランドで基幹システムや自動発注システムなどを展開。卸売業向けのクラウドEDIプラットフォームや専門店向け販売在庫管理システムも手掛ける。自治体向けでは昭和39年から地元和歌山県内の自治体向けに防災行政無線システムを手掛けており、現在は自治体向けに通信システム提供や業績情報システム、小中学校向け校務クラウドサービス、医療機関向け連携プラットフォームなどを手掛ける。売上高構成比はITクラウド事業が50.6%、モバイルネットワーク事業が49.3%（13年12月期第3四半期累計）。

### ■ 特徴

流通業界向けの基幹システムをクラウドで提供しており、高品質でローコストのシステムが特徴。食品スーパーでは「CGC」のブランドで知られるボランティアチェーンのシジシージャパン（非上場）、卸売業では最大手の三菱食品など、大手企業を顧客に抱える。小売業では年商300億円以下の企業を、卸売業では逆に業界大手企業を多く顧客に抱えている。

## アナリストコメント

### ■ 定量分析

14年12月期の非連結経常利益は前期比10.6%増の3億8,000万円を計画する。ITクラウド事業で流通業向けの顧客数増加、官公庁向けでの大型案件寄与が見込まれる。売上規模はITクラウド事業、モバイルネットワーク事業が半々の状況が続くが、利益面のけん引役はITクラウド事業となる。

### ■ 定性分析

和歌山県に本社を置く地方企業だが、流通業界向けで高いシェアを握り、三菱食品など大手企業を顧客に抱えるなど、安価で高品質なサービスが評価される。2014年初めてのIPOが外国籍のアキュセラ・インクであったことから、通常案件としては同社が第1号案件となる。

### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は6.9億円。ベンチャーキャピタル保有株もほぼなく、公開株式以外の株券が市場に流通しづらい構造でもあるため、需給妙味は良好。IPOマーケットへの投資家の関心が高まっていることもあり、大きな需給ギャップが生まれそうだ。  
(小泉健太)

### ■ 類似企業

サイバーリンクス(3683・JASDAQ)	予想PER14.4倍 (仮条件上限)
インフォマート (2492・マザーズ)	予想PER41.8倍
イーサポートリンク (2493・JASDAQ)	予想PER29.0倍

### ■ 引受証券

みずほ証券、野村證券、大和証券、SMBC日興証券、岡三証券、いちよし証券、マネックス証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
12年12月期(実績)	7,105	17.5	329	20.4	154	25.3	127.8	25.00
13年12月期(実績見込み)	7,470	5.1	344	4.5	191	23.9	158.2	32.00
14年12月期(会社予想)	8,666	16.0	380	10.6	235	23.2	166.6	33.00

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
11年12月期	1,206,614	3,158	1,289	366	1,069.0	40.8	9.9
12年12月期	1,210,905	3,287	1,425	368	1,177.3	43.3	11.4

## 大株主上位 (上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	サイバーコア	400,000	30.54
2	村上 恒夫	150,100	11.46
3	サイバーリンクス従業員持株会	107,140	8.18
4	井谷 直人	40,800	3.11
5	西日本電信電話	36,100	2.76
6	紀陽銀行	31,652	2.42
7	和歌山県	28,039	2.14
8	パナソニック システムネットワークス	24,324	1.86
9	小坂 節子	24,200	1.85
10	ジャフコ	24,000	1.83

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	村上 恒夫
専務取締役	佐藤 正光
常務取締役	東 直樹
常務取締役	湯川 隆志
監査役(常勤)	前田 史郎
監査役	梶川 一彦
監査役	水城 実

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。